
根子岳・四阿山

菅平 島田氏別荘利用 菅沼 博

1984年2月9日-11日

メンバー：島田隆一、矢野勝司、古川眞知子、作野晃一、郡司光雄、郡司登喜子、高野眞砂子、西川克之、菅沼博、鈴木鉄也、伊藤碩、遠山友樹、今野桂子、石垣隆宜、蔵田道子、猿田次男 以上16名

2月09日 別荘-ゲレンデ往復 鈴木氏まで10名
ブリザード ゲレンデ休み 午後雨

2月10日 別荘-四阿山往復 8名
別荘-四阿山-根子岳-ゲレンデ 7名
別荘-中間尾根2100往復 1名

2月11日 ゲレンデ-根子岳往復 4名

別荘の位置がゲレンデから徒歩1時間程の所にあり、気軽にゲレンデを滑るといふ訳にはいかなかった。9日は吹雪の中を徒歩で往復したが、10日からは伊藤代表の車にお世話になった。有難うございました。

吹雪と雨と悪雪と見事に3拍子揃った山行になった。ただ救いといえば10日午前中の快晴と、お風呂と少しばかりのアルコールをあげない訳にはならないだろう。

- 御苦労様でした。 島田さん。
- 御疲れ様でした。 島田さんちの別荘さん。
- 御苦労様でした。 伊藤さん。
- 御疲れ様でした。 伊藤さんちの車さん。

鈴木鉄也の四阿山、根子岳

菅平高原の終点でバスを降り、すぐヤレキを着込む。ダボススキー場のリフトは、客の定、運休。風の音だけ強く、ヤレキに寒々しい。

島田さんの別荘に電話を入れると、11時頃にスキー場に出るというので、ミールを付けて、リフト1本上りまで、あつという向に登ったが滑る気もしない、風をよけて暫く休む。が、風速30mとのことで、そのうち冷えてきた。滑るのもままならず、風に飛ばされて、斜滑降の状態で降りる。とりあえず、全員揃ったところで、また同じリフトの脇を途中まで上った後、早々に引き上げる。

翌朝は、ゆっくり休めたせいもあって気分上々、天気もよい。今シーズンで初めて晴天らしい天気だ。

ツマーはなんといっても天気次第、雪と氷も余裕をもって行動できる。

8時過ぎの出發で、4ピッチ程で四阿山。そのまま降りる隊と別れ、根子岳にむかう6人は、とりあえずコルへと樹林帯の中を滑り降りて行く。結果的には、そこが一番おもしろかった。今回のインライトだったような気がする。

根子岳への最後のツメの部分は岩稜のような感じで、股さまの状態を通過する箇所がある。さすがの石垣さんともスキーをはずした。

根子岳山頂には午後3時。あれよという向に、蒸霧となり視界不良となった。ガリガリの斜面は、そろそろ疲れてまた足にはこたえる。

ゲレンデまでは、ます迷うことはないと思うが、初めて来る僕には、スキー場に出るからは、どこを滑っているのか見当もつかない。雪質も、スキー場に出た途端、大粒の文字通りのザラメ雪になった。

バス停まで、伊藤さんの車で迎えに来て貰う。

最終日は、再度、根子岳に登る隊と別れ、早々に帰る。次の日、泊りの仕事で控えてたが、さっそく、次の週の計画を練る。

鈴木

